



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5
MSビル市ヶ谷台1F

編集：全難聴事務局
電話：03 (3225) 5600
FAX：03 (3354) 0046
URL：<https://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

📌 令和4年度 要約筆記者指導者養成研修 難聴者コース第2クール

9/23～9/25に戸山サンライズで、標記の研修の第2クールが実施されました。

当初13名の申込でしたが、第1クール開始前と、第2クール開始前にそれぞれ1名ずつの辞退者があり、全課程を修了したのは11名でした。

修了者の推薦元は以下です。

京都府、鹿児島市、広島県、八王子市、滋賀県、新潟県、千葉県、東京都、岐阜市、神奈川県、北海道。

講師は、全難聴、全要研から出ています。全難聴からの講師は、要約筆記部の神矢理事、藤谷さん、江連さん、緒方さん、宇田川理事が担当しました。



【予告】2022年度要約筆記事業研修概要

2023年1月29日(日)午前・午後要約筆記事業研修をオンラインで実施します。障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法を中心に取り上げる予定です。

📌 電話リレーサービス通訳オペレーター養成カリキュラムの完成

群馬大学の中野聡子教授を代表に令和2、3年度厚労省科研費事業として「電話リレーサービスの担い手となる通訳者の養成のための研究」が進められていましたが、今回研究報告がまとまりました。

報告書では養成カリキュラムの養成到達目標として14の項目が挙げられていて、時間が40時間となっています。今後、このカリキュラムは総務省/厚労省の連名で日本財団電話リレーサービス(NFTRS)の理事長あてに通知され、それを受けてNFTRSに

て、「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する基本的な方針」の規定に従って、このカリキュラムに沿った通訳オペレーターを養成していくこととなります。

📌 NHK「ろうなん」番組検討会


9月13日（火）、標記の検討会が実施され、新谷理事長と小川情報文化部長が出席しました。NHKよりは、メディア総局・福祉担当の中澤部長、小野副部長のお二人の出席がありました。

冒頭、新谷理事長より総務省の「アクセシブル放送行政指針」が10月から見直しに入る予定。NHKの放送新技術は情報アクセスコミ施策新法のテーマとなるのでは、とあいさつしました。そのあと、小川部長から、電話リレーについて「手話リレー、チャットリレーの方法があるが、使いこなせる人が限られて全難聴会員の間では、音声で話し、返事を文字で見えるようにするCTSの方法が今後開始されるのを期待している。」と現状を説明しました。また、新谷理事長よりは「他の障害とろうなんは、これまであまりクロスしてこなかった。障害者全体での取り組み、変化がうかがえるとよい。国連の権利条約日本審査の話題など。

NHKはジュネーブでは取材はしなかったのか。ハートネット以外でNHKで取材しているのか。」と質問したところ、NHKよりは「他部門の対応は承知していないが、コロナで海外の取材が難しい。タイムラグがあるのかも。全体の取組は参考にしたい。」と説明がありました。

その他、 ●障害者情報アクセスコミ施策推進法や ●「ぴったり字幕」の有効性などを議論しました。

📌 耳マーク啓発ポスターの募集を開始:耳マーク部 ~2023年1月末



～聞こえの共生社会を目指すために～

耳マーク啓発ポスター 募集！

耳マーク

★募集要項★
・「耳マーク」の周知と啓発をテーマとする標語を入れたポスターをご応募ください。
標語をイメージした未発表の創作原画
(模造の例)【この耳マークを知ってください】

中途失聴者・難聴者が聞こえない、聞こえづらいことを知らせるための「耳マーク」を社会へ広く周知し、啓発する効果があること。

・耳マークの画像は全難聴HPからダウンロードして使用するが、手書きも可。
但し、耳マークそのものはなるべく指定色の枠にしてください。

・オリジナル作品に限ります。用紙・画材（ソフトウェアアプリケーション）は不問。
・写真はご自身で撮影したものか著作権に配慮したものをご使用ください。

・A4判、縦横自由
・応募資格はプロ、アマチュア、障害の有無、年齢など一切問いません。
・入賞作の二次使用権は一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会に帰属。
※応募時にいただく個人情報、運営上で必要な連絡以外で使用することはありません。
※結果発表は全難聴ホームページで通知、また入賞者に通知します。

【賞】採用 1作品 2万円 佳作 5作品 耳マークグッズの賞品

《締め切り》2023年1月末 締め切り

《応募方法》FAXは不可。折りたたまないでA4判が入る角2封筒で郵送、またはメールでお名前・ご連絡先・応募作品に使った画材名を添えて下記宛先までご応募ください。

送付先: 全難聴 耳マーク部
メール: zennanmimark@gmail.com
〒162-0066
東京都新宿区市谷台町14番5号
MSビル市ヶ谷台1F

《お問い合わせ》
上記のメールか FAX 048-611-8970

全難聴耳マーク部ではこのたび「耳マーク啓発ポスター」募集を始めます。詳細は添付の募集要項とチラシに掲載しておりますが、以下に抜粋して掲載いたします。

- ・募集期間：令和4年
10月1日(土)～令和5年1月31日(火)
- ・募集内容：「耳マーク啓発ポスター」
テーマ ～耳マークを知ってください～
を自由に表現した作品を募集
- ・賞品：採用作品入賞者には、令和5年度に開催予定の「全難聴福祉大会 in 秋田」大会式典にて表彰を行います。採用1作品 2万円、佳作5作品 耳マークグッズの賞品

- ・応募先：郵送かメールで全難聴耳マーク部へ ※FAX は不可
メールアドレス zennanmimimark@gmail.com
郵送先 (全難聴事務局内) 全難聴耳マーク部
- ・全難聴ホームページにも掲載いたします。全難聴 HP トピックス
<https://www.zennancho.or.jp/4412/>
- ・貴会会員のみならずにも広くご周知いただき、応募を呼びかけてくださいますようお願いいたします。

↑ 国連障害者権利条約 日本審査に JDF の一員として参加

2022 年 8 月、私たち国際部 3 名(南・宮本・小谷野)は、スイスの国連ジュネーブ欧州本部で行われた障害者権利条約第 27 会期日本審査に参画しました。日本審査とは、障害者権利委員(以下、委員)による日本政府報告書に関する審査のことで、そこでは日本の政府が障害者権利条約に則って政策を実施しているかなど、委員が NGO(市民社会・障害者団体)のレポートやロビイング・ブリーフィングなどの情報を参考に、委員から政府へ質問をし、政府がそれに答える形で報告をする一連のやり取りのことです。それは建設的対話とも言いますが、名前のおり建設的な対話を重ねながら、委員が国際基準で日本を評価し、のちに総括所見という勧告文を作成します。

私たちがジュネーブに行く目的とは、審査が行われる直前に再度委員と面談し、すでに JDF から提出している 3 本のパラレルレポートに沿って難聴者の実態を伝え、総括所見に難聴者の課題を盛り込んでもらえるように働きかけることです。私たちは、8 月 19 日から 24 日まで、JDF(日本障害フォーラム)のメンバーと協働し、よりよい総括所見をもらうために次のような活動をしてまいりました。

目標 : JDF 加盟団体のメンバーと協力し、良い総括所見をもらえるように活動する
全難聴の運動の一つである、障害認定の課題を総括所見に含めていただく

ジュネーブの活動内容：

1. ロビイング
2. ブリーフィング
3. 1 と 2 の障害者権利委員会および権利委員からの質問の対応
4. 建設的対話(対日審査)の傍聴
5. その他ブログの配信など <https://zennankokusai.blog.jp/>

今後の展望：

総括所見を手にした今、今後の活動の重要性と意味をあらためて感じています。私たちが良い総括所見を手にすることができたのは、ロビイングなどの直前の活動だけではなく、JDF が 5 年の間に作成した 3 本のパラレルレポートがあったからで、これほどまで総括所見に反映されているとは思ってもみませんでした。次の審査(2028 年)にむけ JDF はまた新たにレポート作ることになります。総括所見が出たあとがスタートと言われますが、次回も全難聴全体で意見を出していけたらよいと思います。他にも地域の協会レベルでもしっかり条約を学習し、総括所見を生かすための議論を進めることや、政府や自治体との関係を築き定期的に話し合いの場を設ける努力を続けることが大切です。

難聴者の人権を守るには、法制度の充実はもちろんですが、社会モデルを超えた人権モデルや意識の向上(条約 8 条)に通じる働きかけを推していかないといけないと考えます。また社会全般(地域社会、家庭、個人)において、社会的な障壁こそが障害であり、障害者とは社会が作り出したもの、そして誰もが複合的な困難があることを理解し

合うことが求められます。全難聴は、条約の神髄である人権モデルを浸透させることを考えていかないといけません。国際部は、引き続き、学んだことをお伝えしていきます。

📌 第26回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in おんせん県おおいた

第26回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in おんせん県おおいたは、下記のスケジュールでライブ配信を実施します。

<https://www.youtube.com/watch?v=g-oXQqMk36E>

2022年10月15日（土）13:00～ 記念式典 14:30～ 記念講演
会員のみなさまに広くご周知いただきまして、ご視聴をお願いいたします。

📌 理事の動き（9/1～9/30）

- 9月 2日 8月度 JDF 幹事会（オンライン）（佐野）
- 9月 6日 厚労省電話リレーサービス通訳オペレータ養成カリキュラムについて
面談（新谷）
- 9月 13日 NHK 番組検討委員会（新谷、小川）
- 9月 14日 障害者等の ICT 機器利用支援事業調査事業 調査委員会（オンライン）
（小川）
- 9月 16日 「放送分野における情報アクセシビリティに関する指針」改正に向けた
研究会の説明（新谷）
- 9月 26日 第70回障害者政策委員会（オンライン）（宮本）
- 9月 28日 NHK ユニバーサルサービス利用意向調査の内容説明（オンライン）
（小川）
- 9月 29日 第8回 移動等円滑化評価会議（オンライン）（小川）

📌 10月の予定（10/1～10/31）

- 10月 3日 9月度 JDF 幹事会（オンライン）
- 10月 5日 第71回障害者政策委員会（オンライン）
- 10月 12日 三菱地所への障害者視点からの商品、街づくりのためのヒアリング
- 10月 15日～17日 第26回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in おんせん県おおいた
- 10月 26日 障害者等の ICT 機器利用支援事業調査事業 第2回委員会（オンライン）
- 10月 31日 デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会 WG ヒアリング